

事業所名

育成支援 ラ・ポーズ

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2 月

14 日

| | | | | | | | |
|-----------|-----------------|--|-------|------|---------|--|-------------|
| 法人（事業所）理念 | | 子ども達1人ひとりに寄り添い「やってみたい」「挑戦したい」という気持ちを引き出し、その意思を尊重しながら保護者・関係者の皆様と一緒に共感・共有し、子ども達が安心して「過ごせる場所」「楽しい場所」「第2の我が家」と思える心に寄り添うことを理念として支援します。 | | | | | |
| 支援方針 | | 利用者が日常生活における基本的動作を習得、及び集団生活に適応することができるよう、利用者等の身体及び精神の状況ならびに置かれている環境に応じて適切かつ効果的な支援等を行います。中でも遊びや活動を通してのコミュニケーションの育成や自分で選択して決定、行動する自律の心を育む支援等を中心に子ども達と接していきます。 | | | | | |
| 営業時間 | | 10 時 | 0 分から | 17 時 | 30 分まで | 送迎実施の有無 | ○あり なし |
| | | 支 援 内 容 | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 【生活リズム】来所時や活動中の会話・表情等から生活リズムを確認し、生活リズムと体調のつながり等を意識できるように話をし、着替えを通して身だしなみを整えるよう支援する。 【精神面の安定】学校のこと、家庭のこと等、家族や友達に話づらい悩みなども安心信頼できるスタッフに相談できる。スタッフと一緒に状況を共有・共感から始め、状況を整理して蟹決の見通しを持つことで精神面の安定を図りつつ二次障害の予防につなげます。 | | | | | |
| | 運動・感覚 | 【運動】体を動かす楽しさを味わい、体のいろんな所を使い動かすことで、動作の基本的技能の向上と姿勢維持や移動能力の向上を図ります。 【感覚】遊びなどを通して視覚、聴覚、触覚等の各種感覚を刺激し、活用できるよう支援します。 | | | | | |
| | 認知・行動 | 【認知】活動中の集中力やタイマー等を使った外部情報の取得（視覚や聴覚等）を適切に取得できるよう支援します。 【行動】認知した情報から適切な判断や行動につなげることができるように支援します。 | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 【言語】話ことばやジェスチャーを通して自分の思いや考えを伝えやすいように支援します。 【コミュニケーション】同じものに注意を向け、その行動や意図を理解したり推測したり、各場面にあった対応や関わり方を学び、相手の気持ちや自分の気持ちを伝えあえるコミュニケーション能力の向上を支援します。 | | | | | |
| | | 【人間関係】遊びを通じた他者との関わりや仲間意識を育んでいく支援をします。 【社会性】子ども達が基本的な安心感、信頼感を持つことができるように、同時に自分自身への信頼や愛情を持てるように安心の場所の役割を果たせるように支援します。 | | | | | |
| 家族支援 | | 【家族支援】保護者や兄弟姉妹児との関わり方や家庭での困りごとを支援します。 | | | 移行支援 | 【移行支援】保護者及び関係機関との連携を図り、保護者や子ども達の意向を尊重しながら、個々に合わせた自律及び自立に向けた支援をします。 | |
| 地域支援・地域連携 | | 【地域支援・地域支援】学校、児童クラブ、相談事業所、他の療育施設等と情報交換を行い、子ども達が適切な支援を受けられるように連携します。 | | | 職員の質の向上 | 【職員の質の向上】外部研修への参加及び定期的な社内の研修で、支援スキルの向上と基礎知識の定着を行っています。 | |
| 主な行事等 | | ・各種季節行事（福笑い、節分、ひな祭り、花見、夏祭り、運動会、ハロウィン、クリスマス会等）を行っています。 ・買い物体験、消防訓練や避難訓練、水族館、科学館 | | | | | |